

## 学力向上の決議が採択。賛成しました。

「青梅市の児童・生徒の学力向上を目指す決議」が、先の3月議会で賛成多数で採択されました。

青梅市に住む子どもたちの基礎学力を保障することは、多くの青梅市民の要望するところであり、それに答える責任が学校にあると思います。

どんな政策でも同様ですが、新しいことを始めるには多くの方たちの協力が必要です。学力の向上にはきめ細かい教育体制が必要であり、学校や地域の方々の協力が必要です。とにかく試行錯誤を繰り返して前に進んでいくしかありません。

未来を担う青梅の子どもたちが、人生を切り開いていくための学力、そして知恵や経験を身につけてもらうこと。その体制を整えることが教育の目指すところであり、市議会の役目であると考えて賛成いたしました。

成せばなる 成さねばならぬ 何事も！



## 節電のすすめ。白熱灯からLEDへ！



80ワットの白熱灯5個を10ワットのLEDに換えると…  
 $80\text{ワット} \times 5\text{時間} \times 5\text{個} \times 365\text{日} = 730\text{kワット}$   
 $10\text{ワット} \times 5\text{時間} \times 5\text{個} \times 365\text{日} = 91\text{kワット}$   
 $730\text{kワット} - 91\text{kワット} = \text{年間}639\text{kワットの節約}$   
 (一般家庭の年間平均電力消費量は3600kワット)

球に換えた場合、1日5時間点灯するとして計算すると、年間の消費電力量の約2カ月分を節電できます。家計も節約できます！

先日「えねるぎーしふと青梅塾」という勉強会に参加しました。電気を使わないことは、電気を作り出すことと同じであるというコンセプトをもとに、節電のポイントを教えてくださいました。

例えば、LED電球の消費電力は白熱灯の約1/8。80ワットの白熱灯5個を10ワットのLED電

【お問い合わせ】 青梅市河辺町10-2-1-911 青梅市新町8-13-20 TEL: 080-6805-9236  
 FAX: 0428-31-7643 MAIL: t\_ohsemachi@ybb.ne.jp HP: <http://www.ohsemachi.net>

市議会レポートNo.7(2013年7月1日発行)

無所属

青梅市議会議員

おおせまち 38才  
 大勢待 としあき



### 【プロフィール】

1975(昭50)年4月27日生  
 ねむのき幼稚園  
 青梅市立若草小学校  
 青梅市立霞台中学校  
 都立立川高等学校  
 青山学院大学経済学部  
 立教大学院社会学研究科  
 元IT企業社員  
 青梅市議会議員(1期目)

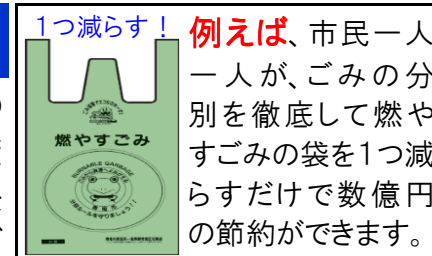
## 財源が10年間で計124億円が不足!?

青梅市が「財政見直し」  
 今後10年で124億円不足  
 人口減、税収減影響  
 西多摩新聞 2012年 11月23日号

平成24年度に、「第6次青梅市総合長期計画」がまとめられ、青梅市のこれから10年間(平成25～34年度)のまちづくりの方向性と諸施策(安全・安心、自然環境、子育て、教育、文化、健康福祉、産業、雇用対策など)が示されました。その中で財政見通しが報告されており、今後10年間で124億円の財源不足が発生すると予測されています。青梅市政の第一の課題は財政であり、財政の解決なくしては各種の施策は絵に描いた餅になってしまいます。

## 財政再建はできる！

上記の財政見直しは、現行制度がそのまま続いた場合の額なので、将来の対策を考えて着実に実行すれば、十分に解決できます。例えば、ごみ問題。青梅市のごみ処理には年間40億円かかっています。日々の生活の中でホンの少し気を遣い、ごみの分別を徹底して、出すごみ袋を1つ減らしてみてください。全体で数億円単位の節約ができます。青梅市の行政の活躍に期待するだけでなく、市民一人一人が青梅市に対して何ができるかを考えて行動することも重要です。



## 小水力発電の導入に向けた調査・研究が始まる！

水力発電と聞くとダムを思い浮かべる方がいるかもしれませんが、小川や水路でも、その水を利用して発電を行うことができます。青梅市は自然



に恵まれて河川があり、再生可能エネルギーの一つである水力利用に適した環境です。青梅市による小水力発電の導入に向けた調査が始まります。直ぐに結果の出る話ではありませんが、未来のエネルギー対策に青梅市は着実に取り組んでいます。

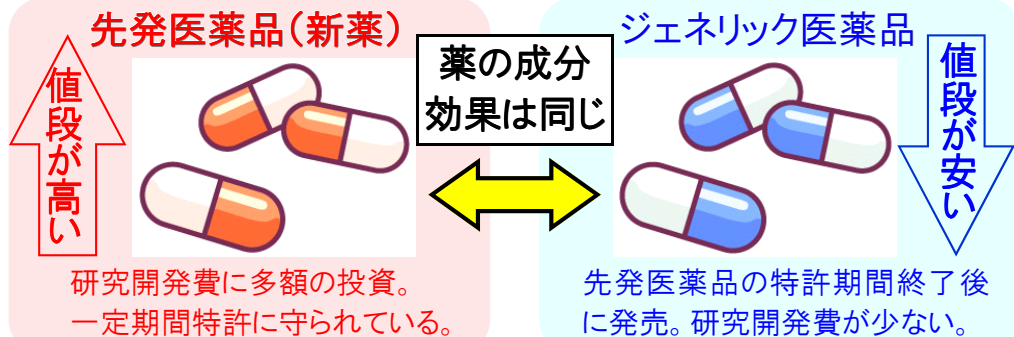


## ジェネリック医薬品のすすめ

病院で処方される薬には、先発医薬品（新薬）とジェネリック医薬品があります。先発医薬品の研究開発には、多額の投資と長い期間がかかります。また一定期間特許で守られているため、値段が高くなっています。

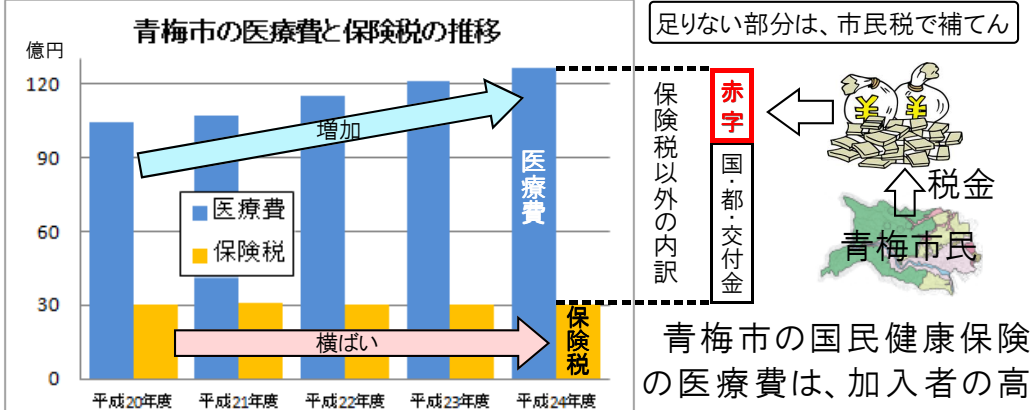
他方、ジェネリック医薬品は、先発医薬品の特許期間終了後に発売されます。ゆえに研究開発費が少なく、薬の成分や効果が変わらないにも係らず、先発医薬品に比べて、約3～7割安い値段で入手できます。

### ○先発医薬品（新薬）とジェネリック医薬品の違い



ジェネリック医薬品に切り替えることで、薬代を大幅に節約することができます。医師や薬剤師に相談してみましょう。

## 青梅市の国民健康保険の財政状況



青梅市の国民健康保険の医療費は、加入者の高齢化、医療技術の高度化などにより年々増加しています。それに対して、保険税の収入は横ばいの状況です。医療費と保険税収入の差は年々広がっており、保険税以外の内訳は、国と東京都からの支出金と各種交付金で賄われています。足りない部分は一般会計からの繰入金、つまり**市民税によって赤字を補てん**しています。この先、国保財政がますます厳しくなることが予想されます。**市民一人一人が自らの健康に気を使い、医療費の削減につとめることが重要**です。ジェネリック医薬品への切り替えもその一つです。

## 高水山トレイルラン完走

青梅市トライアスロン協会主催の第15回・青梅高水山トレイルラン15kmを完走しました。今まで30kmの部は3回完走。15kmの部は2回目の完走です。青梅の森という大自然の中をかけぬけて、走っていてちょっと辛い思いもして、そしてゴールした時は最高に楽しい気分になります。

それにしても青梅市トライアスロン協会は凄い！次々にレースを企画して実行しています。その結果、全国から青梅市に続々とランナーが集まってきています。経済効果は計り知れません。ランナーの幸せ度も計り知れません。**みんなが楽しめる空間を演出すること、その積み重ねが町づくりの基本**ですね。

